

設立趣旨書

1. 設立の趣旨

人口減少社会という課題を抱える日本の中でも、特に地方における少子高齢化は急速に進んでいる。桐生市は、群馬県の全12市の中で最も少子高齢化率が進行している課題先進都市であり、かつての繁栄は遠い過去の出来事となっている。子育て中の父親である代表者は、子供たちが未来に希望を持てる地域にするために、多くの一般市民や団体と連携して、地域経済を活性化したいと考えた。少子化だからこそ、産学官民が協働で新しい公共のカタチをつくり、手厚い子育て支援が可能となる「戦略的少子化」という発想で事業を展開する。子供を中心に据えた事業として、子育て家庭だけでなく、学生や高齢者などを含む幅広い層が関われるようなプラットフォームをつくり、子育てを通じて誰もが成長し、ひとりひとりが主役となり、思い切り力を發揮できる社会の実現を目指している。人口減少や少子高齢化という課題を、子育て支援という切り口で解決できれば、日本全国や世界へもノウハウを提供することが出来、結果的に地域へ貢献できると考えている。

2. 設立申請に至るまでの経過

代表者は、平成23年6月から桐生市との協働事業、桐生市イクメンプロジェクト推進チームのリーダーを務めてきた。父親の育児を広く普及させるために、さまざまな調査・研究を行い、桐生市長に提言書の答申を行うことを目的としていた。その中で、桐生市が抱える人口減少問題を解決するためには、より多くの一般市民を対象に、子育て支援を切り口にしたまちづくりを行うことが必要であるという「キッズバレー、構想」を掲げた。特定非営利活動法人を設立することで、行政だけでは行き届かないきめ細やかさと大胆さで、地域経済を活性化することを目的として設立申請に至った。

平成25年6月1日

(特定非営利活動法人の名称)

特定非営利活動法人キッズバレイ

設立(代表)者 住所又は居所

群馬県桐生市境野町7丁目1764番地6

氏名 松平 博政 印